

## F-7 家政工学への提言

郡馬女短大家政 松田喜美子

目的 日本における家政学は、家庭生活に関する人間の生理的、作業的、慰勞教養的生活に関する個々の研究にとどまっている観がある。このことは、真の意味における家政学のもつ意義に対して、多くの人々が求めている家庭生活に関しての必要な要求を満たし得ない現実である。この要因として、ひとつには応用学の立場から基礎学としての弱体があげられると同時に、底流として家庭生活に対する日本人の閉鎖的家庭観による家庭生活の真の認識が稀薄によるものと考えらる。

この現状から、家政学が果たす役割としての家庭生活に関する総合的機能の効率化を指向した方法として、家政学全般における管理分野面における工学導入、つまり Home Economics Technology を提言し、追究した。

方法 情報工学導入による Scenario writing. 方法として Man Machine System また、A form of Information として Video Information Pattern Information によるものである。

結果 例として、この結果、家庭管理機能は大幅に社会化されるを得ない。